

平成21年

か さ い じ っ た い

火災の実態



春日井市消防署

はじめに

平素は当市消防行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年における社会情勢は急速な技術革新、生活様式の変化及び高齢化率の上昇等により生活環境は大きく様変わりし、火災の形態も多様化してきており、新たな対応が求められています。

このような状況のもと、火災調査により解明した出火原因及び火災発生のメカニズムに基づき、火災予防の啓発活動及び火災の再発防止対策を実施していく必要があります。

本書は、平成21年中に当市において発生しました火災について、火災調査結果をもとに、過去の火災状況と照らし合わせ「火災の実態」として集約したものです。

火災予防の一助として、消防関係者のみならず地域の皆様、企業等も含めた多くの皆様に高覧を賜り、当市消防行政の一層の充実に向けて、ご理解とご協力をいただければ幸いです。

平成22年3月

春日井市消防署長

目 次

第 1 章	火災の概要	1
1	昭和 24 年以降の火災統計	1
2	平成 21 年中の火災の現況	3
(1)	火災の現況	3
(2)	2. 9 日に 1 件火災が発生	4
(3)	建物火災とその他の火災が増加	4
(4)	建物火災は全火災の 48. 8%	5
(5)	春季に火災が増加	5
(6)	出火率は 4. 1 件 / 万人	6
(7)	損害等発生状況	6
ア	焼損床面積は 225 m ² 増加	6
イ	損害額は約 2 億 3 千万円減少	7
(8)	火災の覚知は 119 番通報が 71. 2%	8
ア	携帯電話による 119 番通報が 43 件	8
イ	事後聞知が増加	8
ウ	その他の通報は 4 件	9
(9)	初期消火率 62. 4%	9
3	火災による死傷者の状況	10
(1)	火災による死者は増加	10
ア	人口 10 万人当たり 1. 95 人	10
イ	火災による死者は春季と冬季に多い	10
ウ	逃げ遅れによる死者が 2 人	10
(2)	火災による負傷者は増加	11
ア	建物火災による負傷者が 93. 8%	11
イ	建物火災による負傷者の 93. 3% が住宅で発生	12
ウ	たばこが出火原因の火災で負傷者が 61. 5%	12
エ	消火中による負傷者が 71. 4%	12
オ	6 歳から 64 歳の年齢による負傷者が 75. 0%	12
4	主な出火原因別の傾向	14
(1)	「放火」による火災が 19 年連続して 1 位	14
(2)	不明火は 10 件	14
第 2 章	出火原因別ごとの状況	16
1	放火	16

(1)	放火による火災が19年連続して1位	16
(2)	出火時期	16
ア	8月に8件発生	16
イ	夜間から朝方に40.8%発生	17
ウ	月曜日と金曜日に20.4%の10件発生	17
(3)	ライターによる放火が7件	18
(4)	建物内部からの放火が90.5%の19件発生	18
(5)	共同住宅で38.1%の8件発生	20
(6)	連続放火は1回発生	20
(7)	放火による出火事例	21
2	たばこ	22
(1)	前年より1件増加	22
(2)	16時から18時までに23.1%の3件発生	22
(3)	不適當なところに捨て置くが61.5%	23
(4)	落葉、紙屑、ふとん類に着火が15.4%	23
(5)	建物火災では居室から50.0%の3件発生	24
(6)	たばこによる出火事例	25
3	火遊び	26
(1)	前年より5件増加	26
(2)	出火時期	26
ア	4月と9月に25.0%の3件発生	26
イ	16時から18時までに41.7%の5件発生	27
ウ	土曜日に50.0%の6件発生	27
(3)	敷地・公園で66.7%の8件発生	28
(4)	火遊びによる出火事例	29
4	こんろ	30
(1)	前年より4件減少	30
(2)	16時から22時までに66.7%の4件発生	30
(3)	「放置する・忘れる」が50.0%の3件発生	31
(4)	共同住宅が50.0%の3件発生	31
(5)	初期消火率83.3%	31
(6)	天ぷら油による出火事例	32
第3章 火災種別ごとの状況		33
1	建物火災	33
(1)	火災の現況	33
ア	建物火災の43.3%が木造建築物	33

イ	建物火災は「放火」によるものが多い	34
(2)	住宅火災	34
ア	住宅火災の現況	34
イ	全焼が2件増加	34
ウ	損害額は約3,400万円増加	35
エ	住宅火災は「放火」によるものが多い	35
オ	初期消火成功率は63.3%	37
カ	死者3人、負傷者14人の発生	37
(3)	査察対象物火災	37
ア	査察対象物火災は建物火災の55.7%	37
イ	ぼやが61.8%	37
ウ	査察対象物火災は「放火」によるものが多い	38
(4)	住宅火災の出火事例	40
(5)	査察対象物火災の出火事例	41
2	車両火災	42
(1)	火災の現況	42
(2)	「走行中」及び「駐車中」とともに6件	42
(3)	出火原因	42
ア	走行中の出火原因1位は「排気管」	42
イ	駐車中の出火原因1位は「放火」	42
ウ	「放火」は夜間から朝方に発生	42
(4)	車両火災の出火事例	43
3	その他の火災	45
(1)	火災の現況	45
(2)	出火原因の1位は「放火」	45
(3)	焼損物は枯草が40.0%	46
(4)	春季・秋季に多い	46
(5)	16時から18時に24.0%発生	47
(6)	その他の火災の出火事例	48
第4章	平成21年中の火災の特徴	50
1	市内東部で放火火災増加	50
2	林野焼損面積の減少	50
3	学校敷地内での火災が増加	51
4	特異な出火事例	51

第5章	焼損事故の状況	53
1	焼損事故	53
(1)	焼損事故の定義	53
(2)	平成21年中の焼損事故の現況	53
(3)	冬季・春季に多い	54
(4)	「鍋の放置過熱」が47.2%	54
(5)	住宅用火災警報器により94.4%発見	55
2	焼損事故事例	57
第6章	平成21年中の火災統計	58
1	消防署・出張所別火災発生状況	58
2	消防団管区別火災発生状況	58
3	小学校区別火災発生状況	59
4	高速道路等における火災発生状況	61
5	主な出火原因の推移（上位5位）	62